

泡だらけの川

探偵助手は、今日も残業であった。

彼は自転車が好きだ。今日も、暗くなった川沿いの道を自転車で我が家へ。

やや、川がおかしい！よく見ると、あちこちに泡、泡、泡。

大急ぎで探偵を呼び出し、すぐに調査が始まった。

川全体が、泡で覆われている。

ここは、地域の方たちがコイを放流し育てている地域なのに、

魚たちは大丈夫だろうか。

この泡の原因は、何だろう。

上流にさかのぼると、暗渠にたどり着いた。

区役所の職員等が調査に乗り出している。

採水等、調査は夜中まで続いた。



泡だらけの川



泡の流れ込み地点

ところで、泡といえば、洗剤が思い浮かぶけど、

洗剤のなかで重要な役割をはたすもの、すなわち界面活性剤には色々な種類があるのを知っているかい。

また、界面活性剤は魚に悪い影響をあたえることも知られているんだよ。

次の日の朝、調査にでかけた2人が見たものは、大量の魚の死骸。

大事に育てられていた鯉たちは、全滅だった。回収された鯉の死骸は約5トン。



川のあちこちに鯉の死骸が…。

原因は、ある青年が、洗剤を捨てたためだとわかった。
運送会社の従業員が家庭用洗剤約 360Lを排水溝に捨てたのである。
この青年は廃棄物処理法違反で逮捕された。
しかし、地域の住民が10年以上前から育てた鯉たちは生き返らない。

探偵団では、河川の洗剤成分の追跡調査をおこない、
約1週間後に、水質が通常に戻った「安全宣言」を出した。
このあと、新たな「鯉の里」づくりが始まったのは、言うまでもない。
多くの方からの寄付等で、稚魚の放流等が行われている。